京城新聞

●葉錢整理に就て（一）

某當局者談

此る方針に基き從來採り來たる手段は

▲其流通現在額の減少すること　從來葉錢は流通地方に於て唯一の貨幣たりしを以て正確なる統計の據る可きなしと雖も其現在額決して尠からず故に先づ其現在額を相當に減少せしむるを急務とし一昨年來政府は之れが買上を開始したり其買上額既に二十三万圓に達す而して恰も宜し一昨年來海外銅相場の暴騰、大に整理を助長し其輸出額百七十餘万圓に達し即ち爾來流通外に驅逐せられたるもの約二百萬圓にして從前流通額の殆んど三分の二は減少したるものと想像せらる而して其殘額の市場に流通する額の如何は之れを正確にする能はずと雖も諸種の報告統計等を總合參酌せば百五十萬圓内外を算するものと測定することを得るなり

人民の因襲を打破し新貨に慣熟せしむるが爲には各種の貨幣見本を配布し各地方官廳金融機關を通じて新貨に親炙せしめ新貨特質を説明し葉錢の缺點を指摘して以て啓蒙に努めしめたり

葉錢の整理は同時に新貨の散布普及と密接の關係を有し相呼應して整理の實效を奏す可きものなれば一方に葉錢の引き上を行ふと共に或は銀行會社組合買出商人等には新貨の無利子又は低利の貸付をなして山間僻地に普及を誤らしめ或は市日に出張をなさしめて新舊貨の交換買上に應せしむる等極力其散布に努めしめたり然れ共元より新貨の散布のみを以て葉錢を驅逐し得るものにあらず又葉錢地方に新貨を強ひて散布せばとて從て發行すれば從て歸來し却て人民の葉錢に對する愛着心を喚起す可きを以て一方徐々に葉錢を引上げ其缺を補ふと共に他の方面より新貨の利便を感得せしめ自然に其散布と共に葉錢の驅逐を謀りたり此くして新貨の散布せられたるもの光武九年末には三十六萬餘圓なりしも本年六月末には四百十餘萬圓に達し殊に其散布に際しては少額補助貨即ち五錢白銅貨及一錢半錢青銅貨の少額補助貨には大に意を用ひし所にして白銅貨百十餘萬圓青銅貨二十萬圓の發行を見たり而して玆に一言す可きは一錢及び半錢青銅貨は昨年二三月銅相場の關係より形體を小にし量目を減せしが爲めに改鑄の必要を認めたり此際一部の議論として穿孔錢たらしむべしとの説あり之れに對しては種々の考究を遂げたるも造幣上非常に困難にして多額の費用を要し且つ之れが打拔き精巧なるを得ずして孔口と周圍の文字紋樣との配合拙劣を極め貨幣の品威を害する缺點あるのみならず外國に於ける實例に徴するも成効せしものを聞かざりしを以て結局從來の形式を踏襲するに至れり

▲金融機關の設備　前述せし如く郡守徴稅時代に於て納稅の關係が葉錢相場變動の一因たりしも此時代に於ては財務監督の不整頓にして如何ともし難かりしが晩近財務機關整備して徴稅の方法一新せられたるを以て此の如き弊害は全く根絶するに至れり而して之れと共に政府は各地に金融機關を設備して資金の疏通を謀り各地爲替關係の利用は資金の運轉を圓滑ならしめたるが爲めに金融上より來る葉錢相場の變動は狹少なる範圍に止まるに至れり

以上の如くにて葉錢現在額の減少新貨の普及及び其他の機關設備漸く全きを致したるを以て玆に愈々當初の目的を遂行す可き機運に際會し本年六月勅令を以て葉錢の公定價格及び通用制限を限定せられ全く補助貨として通用を公認せらるゝに至れり即ち本勅令の主旨は葉錢の通用價格を維持し通用制限を勵行して相場の變動を根底より破壞し以て幣制の統一を謀らんとするものなり

故に今後の方針としては

▲公定價格の維持　之れが爲めには葉錢建相場の廢止、葉錢相場の取締を嚴にし葉錢の賣買を禁し貨幣交換に從事するものには唯相當なる手數料を徴することを得るに止めしめ納稅其他には重に新貨を用ゐしむると共に他方に於て新貨の散布には極力盡瘁し金融機關を通し必要に應じて散布交換に從事せしむるは勿論臨機の手段を施し通貨の欠乏を防ぎ以て葉錢價格の騰貴を防止せんとす

讀者文壇

●寄宿舍の記（八）

かへで生

休み日の翌る日、逢ふ人毎に仕氣ない顔を見る、その口の端より漏るゝ早うの聲も昨日に比べてなんとのう陰に響く。朝早くより、夜はおそくまで鞭打たるゝ吾等の身にとりて、月二回の休日、如何に一大安息日ぞや。人は、素と自由の蒼生たり、たゞ社會ありて、競走起り、淘汰現はれて、此の自由の天地を閉止さんとするを恨む。アゝ吾等は永久に自由の民たるを得ざる乎。夜九時に歸りぬ。歸へればとて、お勞れでせうといたわり呉るゝものあるにもあらず、さればとて、茶を入れ洋服をたゝみくるゝもののあるにもあらず、たゞ冷き室に電燈の寂しげに迎ふるあるのみ。アイ君、何處に行きしや、床はのべてあれども、是空なり。月徒に冴へて漫に母國の空や如何にも偲ばるゝも秋なれや。（五日の夜）

●畫家と書家

南軒

畫家が猫と虎とを書き分けるには、それに竹を添へると否とによつて定められる。したら書家が烏と鳥の草體を書き分けるには何を添へるだらうか。

●生命石

人は決してパン而已にて生くるものでは無い、然り、僕も左信する、實に人は其意思の硬軟に依つて生くる。其弱きは自ら殺し其強きは自ら存す、耶蘇キリストは此の意思を石に譬へた。善哉。石にも硬軟がある。

（四十四）

河合柳葉

某夜の事であつた、清川は侯爵家から歸つて來ると、何か思案に餘る事でもあるのか、例ほどの元氣もなく、晩酌も酌ず、夕飯す匆々に濟して已が室に閉籠つた。妻の時子は良人の身の上を氣遣ひて、共に褥に入り、

『貴方、御氣分でも惡いのぢやありませんか、何だか元氣がお在なさらないやうに思はれます……』

と問掛けた。

道恭は事もなげな語調で、

『なあに、氣分なんか惡くはないさ、顏色でも惡いか。』

『お顏色も左程惡いとも思はないですが、必度お好な晩酌もお上りなさらないから、御氣分でもお惡いのかと存じました。』

『御酒はお屋敷で頂いて歸つたから、それで含したので、しかし今晩は早く寢むから直に床を取つて下れ、そして暑くるしいから、蚊帳は釣らないでも可いよ。』

『よろしうございます、直に展べます。』

時子は心配した良人の身の上は然程な事もなかつたゆゑ、安心して床を敷くべく彼方へ去つた。

清川は、妻の時子には然り氣なく云つたものゝ、何か容易ならない心配事のあるらしく、默然と腕を拱いて又も思案に沈むのであつたが、やがて時子の床を敷つたと云ふ知らせに、思案に暮れながら床に就いた。就褥してからも、また種々と考へ通して居つたが、いつしか思案に疲れて夢路の境に入つた。

夏の夜の更け易くして、かれこれ十二時前後かとも思ふ頃、頻に苦しさうな聲がするので、時子は搖り起して、

『貴方、貴方、奈何かなさいましたか。』

其聲が耳に入つたのか、道恭はハツと驚いて目を覺ましたが、なほも四邊を氣遣ふ如く瞿々と見廻すのであつた。

時子は重ねて、

『奈何なさいました、夢にでも襲はれなすつたんですか。』

と云ひつゝ枕頭の火鉢に掛けた鐵瓶の湯をコツプに注いで、

『サア、お湯を一口召上つて御覽なさいまし、少しは氣が沈着でございませう……マアびッたり汗をお出しなすつて、』

と湯を進めて汗を拭ひやれば、道恭は湯を一口飲むで胸のあたりを撫で下ろし、漸く正氣づいた如く、ホツと太息を洩した。

『何か囈言でも言つたかね。』

『いゝゑ、囈言は有仰らないやうでしたけれど、大層魘されなすつたのです。』

『ふむ、然うだろう……吁々可厭な夢を見るもんだ。』

と云つて、夢の跡を追想する如く腕を組だまゝ默然として思案に沈む。

時子は心配顏に、

『久しく夢なんか見た談話もなすつた事はないに、本當に可怪な事ですね、魘されなすつたりなんかして、何か恐ろしい夢でも御覽なすつたんですか。』

と、樣子聞きたげに問へば道恭は組むだ腕を解くと共に、

『奈何も可厭な夢を見るもんだ、どうぞ變つた事がなけりや宜いが、思ひ出しても慄乎とする。』

今更らしく可厭な顔をする。

京城新聞

東洋拓殖株式募集に就て

株式會社を組織し株式募集をなすに當り多數の應募者を得るの策として其事業の有利なるを殊更に誇張し、株屋を操縦して空株を煽買せしむるが如き惡辣の政略を行ふものあり、其惡辣の政略も當に多數の應募者を得る目的なる以外何等の旨なしと雖も、其實其間に於て種々の醜實に依り利益を貪らんとする惡手段なり、甚だしきに至りては空株に依りて利得するを目的に會社を組織するもあり、日露戰役後に勃興したる株式熱の如きも此種の弊害に依り、素より堅實の根底なきもの故に忽ちにして泡沫夢幻に化し去るべしと雖も、斯る惡弊の陋なるは其會社を害するのみならず、堅實なる實業會社の發展を妨げ社會に浮誇の陋風を存することは甚だ悲むべき事なり

今回創立せられたる東洋拓殖會社も亦此惡風潮に襲はれつゝあるに非ざる乎、東京よりの通信に依れば、會社の株式募集は未だ發表せられざるに權利株は五圓の價格あり募集發表後は倍一層騰貴すべく株式申込の募集も十倍に達すべしと、此若實なれば該會社にして斯る浮誇の傾向あるは歎ずべし人或は云ふ政府の補給あるが爲に之を確實なりとして應募するもの多きが故なりと、一應尤もなる說なりと雖も、元來株式の價値は政府の補給に依りて定まるものに非ずして其事業の如何に依るものなり、如何に政府が之を補助せんとするも其事業にして經營困難のものならば容易に發達すべくもあらず唯其事業の性質如何に重きを置かざるべからず、而して其事業が如何に多望なりと雖も之を主宰する役員にして其人を得ざるに於ては到底會社の隆盛は期すべからず

東洋拓殖の如きは其事業は固より着實にして前途非常に有望なり、之が株式の募集に於て泡沫會社の如き浮誇輕佻の態度を採る可らず、最も堅實なる態度を持して總て行はざる可らず、其主脳たる總裁副總裁の如きも最も適當の人物を選擇して之に當らしむるに於ては始めて世人は之を信任して誠實に株式募集に應ずべし、株屋を操縦して權利株の煽買をなさしむるに及ばず、其拂込を手形に依りてなさしめ以て十倍の應募者に達したりと誇張するにも及ばず、南滿鐵道の株式募集が例の手形拂込に依りて幾倍の應募者ありしと誇りたる如き輕佻の態を學ぶ可らず、堅實なる方法に依りて組織されざる所に於て東洋拓殖の株式は在韓邦人を閑却して顧ざる事なり韓國人にも重きを置きたり世の所謂政治屋にも重きを置きたり、祖國知名の實業家にも重きを置きたり、獨り在韓邦人のみ閑却したり、創立委員にも其一人だも加へられず、會社が前途に於て之を悔るの時は來らざる乎、先輩當局者は在韓邦人を度外視するが如きは決して會社の爲すべきことにあらず、當地に於ける株式募集も近日開始せらるべしと云ふ、在韓邦人の之に對する態度如何、此等の點に於て在韓邦人を度外するが如きは甚だ策の得たるものに非ざるなり、

東京電報

▲久邇宮殿下の換國訪問

獨乙に御留學中なる久邇宮殿下には御微行にて墺地利、伊太利を御旅行の上同國皇室を御訪問あらせらる(十九日發)

▲米大使の晩餐會

米國大使は昨夜米國廻航艦隊提督スペリー少將等を招待し晩餐會を開く主客百六十七人にして日本海軍が大和魂を文明の進步に應用せるの技倆を賞し歡を盡して散會せり(二十日發)

雜報

●漁業法と參與官會議

漁業法案は參與官會議を經閣議に提出せられたるも尙研究を要する點ありて撤回せられたるが既報の通り日本政府との內協議も濟みたるを以て昨日の參與官會議にて議了し本週中に發布の手續となる筈なりと

●韓國寺院の統一

韓國各道の寺院代表者は全國寺院の統一を圖り佛教の振興を企つる目的を以て日本人僧侶を顧問とし京城に宗務院(總本山)を設くる件に關し總代を選み宗務院規則を定め內部に申請したるを以て內部大臣は此れを前週の閣議に諮り尙昨日の參與官會議に附議したる由にて近々認可せらるべしと云ふ

●大臣會議休會

昨日の定例大臣會議は都合により休會せり

●參與官會議

廿日午前十時より統監府に於て各參與官參集參與官會議を開けり

●拓殖會社に關する諭告

農商工部大臣は東洋拓殖株式會社の創立に關し韓國民の疑惑を懷く者あるを慮り近々同會社の性質及び其の創立趣旨等に關する諭告文を發する筈なり

●師團送別會

第十三師團送別園遊會は既記の如く昨二十日午後二時より倭城臺公園に於て開催せられたり、主賓は岡崎師團長及新着の西島六師團長を始め各將校の來會せるもの二百餘名主人側には熊谷民長各民會議員其他居留民中の重立ちたる人々三百餘名參會し午後二時十分第一爆竹の了るや軍樂隊は送別の樂を奏し夫より主客打揃つて設けの立食場に入り舉杯酣なるや發起人總代熊谷民長は切實なる一場の惜別の辭を述べ次に岡崎師團長より懇篤なる謝辭あり次に曾禰副統監の音頭にて十三師團の萬歲を三唱し夫より花月連の演劇餘興あり了つて來賓打連れて各模擬店に就き三々五々各欲するところを求め各歡樂を盡して午後五時に至り夕陽斜なる頃隨時退散したり、當日出席の人々は岡崎、西島兩師團長を始め曾禰副統監長谷川大將其他官民の重なるもの六百名にして近來になき盛會なりし

●鍋島侯へ御贈品

太皇帝及び嚴貴妃より鍋島侯爵並に同夫人へ左の物品を贈與ありたり

一 品藍色無紋緞　貳巻
一 粉紅色有紋緞　貳巻

●千秋慶節

昨日は韓皇太子の誕辰なる千秋慶節に相當せしかば韓人は一般に國旗を掲揚し祝意を表したり

●警視總監來任期

若林警視總監は本月廿四日島根を出發する旨來報ありし由にて當地着任は廿七日なるべし

●內債證券發行の說

皇室の債務に對し各債權者より帝室財產整理局に向ひ之れが償還を請求するもの多額に上り國庫窮乏の今日容易に之れが償還をなす能はざるを以て度支部に於ては內債證券を發行し其の整理をなさんとの議なりき

●赤十字總會彙報

◎紀念品　今回の總會に參列する社員には式場入口に於て紀念品及紀念繪葉書を交付する筈なるが紀念品は東京七寶屋に命じ菊葉に李花をあしらひ赤十字を顯はしたる七寶メタルにピンをつけ當日は紀念章に平日はピンを外してメタルに用ゆるの趣向なり又繪葉書は菊及桐花に赤十字を顯はしたる上に總裁閑院宮殿下の御肖像を寫したるもの及景福宮內慶會樓に美麗なる花を顯はしたる二枚一組のものなりと

◎參列申込み　總委員部に於て參列社員に交付すべき紀念品の調製及會場設備等の都合あるに依り所管の委員部に於て豫め參列社員の員數(有功社員、特別社員、委員部役員は氏名とも)を取纏め總委員部(統監府內)に報告する手筈なるに依り總會當日參列すべき社員は此際至急所管委員部理事廳民役所又は觀察道內に其旨申込み置くことを要すと

●芙江淸州間道路開鑿

忠淸北道淸州日本人會の發起にて同地方日韓人共同して芙江より淸州間の道路開鑿の件を神谷道書記官の手を經て其筋に出願中なるが他分今明日中には開通せらるべしと經費は三萬圓なりと云ふ

●群山港埋築

群山民團の企圖せる同港埋築起工の件につき同稅關長四元氏は本日上京し度支部に出頭し打合せをなす筈なり

●京城監獄の移轉

鐘路に在りし京城監獄署は本月十八日獨立門外なる新築監獄に移轉せり同監獄は昨年內部監督の下に新築せられたるものなるが其の設備其の他に關し監獄として缺くる所ありとて專門家の間に批難の聲高かりしものなり

●日韓瓦斯の事務開始

日韓瓦斯株式會社は愈々豫て噂ありし如く、成立したるを以て取締役技師長高松博士を初め岡崎專務取締役曾禰副寬治其他二三の人々は事業着手の爲め、既に來京せられ居たりしが、今回土地の測量、工事の設計等も略ぼ決了せるを以て明治町日韓印刷株式會社內に事務所を設置し、事務の開始を爲したる由吾人は京城に於ける電氣事業が極めて不完全なるの今日、單に燈火用の目的の爲めにても、速に同會社の發展を祈り、また一日も早く營業の開始せらるゝを希ふ

●暴徒と地方の狀況

▲京城分隊管區內　京畿道高陽、水原、龍仁、廣州、抱川、麻田、漣川及び黃海道平山、延安郡地方は賊徒の出沒前期に比し頻繁となり其數も比較的多數なり畢竟するに我討伐隊の搜索嚴なるに堪へず一時屛息し其動靜を窺ひ居りし幾部の賊徒及び無賴漢等は秋收の近きに及べるを以て例年の火賊と稱する強盜輩が之を好機とし互に相呼應して名を義兵に借り良民の金品を掠奪し以て私慾を充さんとするものならん蓋し此等の徒は何等政事的意味を有するものにあらざるが如く思はる然れども此際一層の警戒を加へ尙嚴重に偵察中又管內一般を通し賊徒の出沒稍や繁多なるや農民の多くは再び彼等賊徒の暴戾に遭遇するを杞憂し居るの情態にあり而して一般に農作物良好なるを喜び居れり

▲京城管區　前期に比し賊徒の出沒漸次頻繁となれり就中高陽、楊州地方は賊魁黃浩の率ふる數十名の賊徒出沒頻繁なり從つて良民の被害少からず爲めに人民は不安の情態にあり又本期間高陽郡內に於て十數名の賊と二回楊州郡內に於て十數名の賊と二回前後數日を出ずして我憲兵と衝突せり又抱川郡內には約四百名の賊ありて彼等は二三十名宛分離して郡內を中心として附近を出沒する情報ありしを以て嚴密に搜索中なり九月二十六日抱川郡內面洞に宿泊せし約八十名の賊は前記四百名の一部ならんと思惟す永平郡內地方には自稱前步兵參尉金某なるもの昨今十數名の賊を率ゐ良民の金品を掠奪しつゝありと　(未完)

●仁川居留民會

來る廿六日第一回仁川民會を開き議長の撰擧を行ひ後議員懇親會を開く豫定なりと尙二拾八日第二回民會を開き前民會の宿題につき討議する筈

●仁川信用組合開始

仁川信用組合に於ては目下會員募集中なるが來る卅一日限り中止し來月一日より業務を開始する豫定なりと云ふ

●梧柳洞停車場移轉

京仁線梧柳洞停車場は二十日より仁川基點十四哩三十九鎖二十五節に移轉す

●九月中京城金融

(京城日本人商業會議所調查)

當京城に於ける本月中の金融狀況を調查するに其上旬に於ては淸韓人側舊盆節期に當り從つて各方面に於ける決濟資金の需用を喚起し一時多少の繁忙を見たりしも中旬以後に至りては殆ど常態に復せり亦た日本人側に於ても未だ商業期に入らざるを以て市場は寧ろ閑散にして平穩の間に越月せり今各銀行の預金貸金高を日韓人側に區別調查すれば左の如し

△日本人側三銀行

	預金	貸金
八月	七、四七五、七一〇	二、九一七、一〇五
九月	七、四二九、九〇九	二、九五五、〇五八
減／增	減 四五、八〇一	增 三七、九五三

△韓人側四銀行

	預金	貸金
八月	八二七、〇一七	[illegible]
九月	八三〇、〇二四	[illegible]
增／減	增 三、〇〇六	減 [illegible]

前表により日本人側三銀行を見るに前月に比し預金に於て四萬五千餘圓を減じ貸金に於て三万七千九百餘圓の增加を見るに至れり是れ主として冬季品仕入等其他商業資金に需用したるものなるも公金の取扱に係るものゝ亦た尠からず而かも一般市中金融に至ては著しき關係なき如かし亦た韓國側四銀行を見るに日本人側とは全く反對の現象を呈し預金に於て三千餘圓を增し貸金に於て三万五千餘圓を減ずるに至れり蓋し淸韓人側に於ける舊盆節期の爲め總ての取引精算を終り一時金融界に於ける一段落を告げたるに因るならん乎尤も來月中旬以後は米穀買出冬向商品の需用に連れ市場幾分か活氣を呈するならん

●貨幣發行高週報

(自十月十一日至同十七日)

第一銀行券總發行平均高	八、八七三、九〇〇圓
內 正貨準備發行額	三、一二八、六〇〇
保證準備發行額	五、七四五、三〇〇
銀行券平均手許有高	八四六、五六三
銀行券市場平均流通高	八、〇二七、三三七
硬貨發行額(十月十七日現在)	三、九四〇、〇〇〇
內 金貨貳拾圓	八〇〇、〇〇〇
同 拾圓	五〇、〇〇〇
同 五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五拾錢	七七〇、五〇〇
同 二拾錢	七二五、〇〇〇
同 拾錢	三四六、五〇〇
白銅貨五錢	九六五、二五〇
青銅貨壹錢	一三三、四七五
同 五厘	六〇、二七五

●勅語謄本下附

京城居留民團立高等女學校及び第二尋常高等小學校へ今回教育勅語謄本の下附ありたるを以て熊谷民長は一昨日之を各學校へ奉送したりと云ふ

●日韓瓦斯の招待

日韓瓦斯會社は既報の如く愈よ龍山に新築することゝなり技師等も過日來京せしが同會新關係者たる曾禰寬治氏は來る二十四日韓國各大臣其他を招待し饗宴を開く筈なり

●青年會演藝會趣旨

京城基督教青年會にては來る二十三四の兩日本町座に於て演藝會を開くことは別項の如くなるが同會の趣旨は左の如し

在韓邦人中比較的單獨の生活者多く隨て家庭の樂みを受くることを得ざると同時に耳目を樂ましむべき淸雅の娛樂機關なき爲め不知不識酒色其他の惡戲に陷るもの少しとせず之等の現象は我民族の發展上決して等閑に付すべき問題に非らざるなり吾人微力を顧みず京城基督青年會を設立し基督教の道德的並に宗教的信念を宣傳して其智德の發達を圖り併せて社交及身体上の福利を增進し以て社會の改善を計らんと欲し先づ假會館を設け學術宗教に關する講演會を開らき且つ親睦懇話の集會を開らき又書籍新聞雜誌及遊戲品を備へて人々の縱覽使用に供し一方には適當なる講師を聘して韓英語の講習及圖書の硏究に力を盡しつゝあり本會が今後益々發展して社會に貢獻せんとするには大方諸賢の贊助に依らざるを得ず而して創立日尙ほ淺く假令幾多仁人の助力ありとも未だ設備を完ふする能はず依て玆に特志諸賢の援助を得て一大演劇會を開催し其所得を擧げて本會の設備費用に充てんとす幸に各位の贊翼により微志を遂行することを得ば啻に本會の幸福のみに非らざるなり

尙は會長は渡邊暢氏にして贊成者は石塚英藏、市原盛宏兩氏以下在京城有力者五十餘名なり

●北滿洲の發刊

本邦人三隅次郞氏の經營に成る新聞北滿洲は本月五日哈爾賓傳家甸同社より第一號を發刊せり同紙は普通新聞四切八ページにて印刷鮮明にして材料豐富なり北滿洲に志ある者に取りて讀まざるべからざる新聞なり

●安達參事官の病氣

目下來京中の大使館參事官安達峰一郞氏は病氣の爲め旅館巴城館に引籠加療せり

●鍋島參與官の歸任

曩に展墓の爲め歸省せられたる鍋島外務部長は廿日午後八時三十分南大門着歸任せられたり

●米國副領事の訪問

パトック氏は十九日午前より統監府を訪問せり

●土木局長の出張

內部土木局長劉猛氏は治道水道工事視察のため大邱馬山木浦に出張を命ぜられ事務官安國承主事李丙植の兩氏を隨へ昨朝出發せり

●神野書記官出張

既報の通り神野法部書記官は中樞主事を隨へ平壤義州地方に向け昨日出發せしが往復約一周間の豫定也と

●富田民長の訪問

富田仁川民長は昨日經理管理局訪問の爲め龍山に出張し歸途軍司令部に立寄り即日歸仁せり

●田中書記長の歸任

來京中なりし平壤控訴院書記長田中忠見氏は昨朝出發歸任也

●修學旅行生歸仁

安東縣方面に修學旅行中なる仁川小學校生徒は本日歸仁の筈

公人私人

▲宮川武行氏(全羅北道警察部長)　十九日出京浦尾旅館
▲永谷清治氏(參謀本部員步兵大尉)　十九日入京浦尾旅館
▲高壯吉氏(八幡製鐵所技師)　十九日入京天眞樓
▲福井安住氏(晋州蠶業會社取締役)　十九日入京不知火旅館

●近事片々

▲宮內府も內部と同樣に冠宕を廢止するとの事次は學部なりと云ふ先づ〳〵結構也

▲韓人の發冠は事務を執るには甚だ不適當之が廢止は啻に執務上のみに非ざるべし

▲韓人の衣冠ご溫突とは懶惰の風を釀生せしむるの一の原因之が改良は最も善事也

▲一進會機關紙國民新報は副觀察使配置の說は無根なりと報ず之れ宋君の心機一轉

▲宋君が大臣會議に之を提出したりとは強ち無根の說には非ず之を打消す何の意を

▲是も時彼も一時之れ宋君の策略か觀察使には宋君の配下案外に尠しと云ふ事也

▲宋君は眼前の小手利き也到底長く高關に坐するの器に非ずと云ふ果して四面楚歌

▲完用君は宋君に比して其器稍大なり自己も亦半島隨一の政治家なりと自ら誇らん

▲唯々緣戚政器の亂用は彼の缺點今少し其進退を公明にすることそ彼の得策ならんと

▲救世軍韓國に來る日本に於ける傳道は兒角成功せざるも韓國には却て成效すべし

▲日本人には大鼓入り賑かなる宗教は不向き此點に於て韓人は或は喜で迎へん乎

▲救世軍大將ブース昨年來朝し偉人として歡迎せらる是れブースの人格に對して也

▲日本に於ける基督教會は皆韓國に來りて宣教を始む美以組合一致監督又救世軍

▲宗派の何たるを問はず宗教の傳道は必要也在留邦人上下を通じて趣味の墮落甚し

▲各教會とも今少し家族的の集會をなせ寄で集り自然に教化を受る樣にするが肝要

▲信徒間の交情は無論未信徒に對しても一層愛を注げ傳道の秘訣は失張愛が第一也

▲始て教會に望む者に勉て懇にせよ他人扱ひして更に顧ざるが如きは斷じて不可也

▲阪谷男の經濟協會に於て述べられたる韓國觀は適切にして頗に吾意を得たるもの

▲韓國は貧之國に非ず韓人に經濟慾望の少き爲に此富饒の土より富を擧る能はずと

▲氣候は良し土地は豐饒也之を貧乏國と云へば西比利亞の如きは何と云ふべきかと

▲男爵は流石經濟的眼孔高し其觀察の如き精透にして要を得たる普通觀察者及はず

▲米國實業家連小村外相の招待により其官邸に至り室內粧飾の雄大なるに驚けりと

▲只見る櫻の大樹あり櫻花爛漫是はく紅葉の季節に櫻花咲くぞも不思議と驚けり

▲然は室內が將た庭園かと聞きしものさへありと小村伯の意匠極て嶄新にして奇拔

京城居留民團公文

京城居留民團規則第十八號

京城居留民團督促規則左記ノ通リ理事官ノ認可ヲ經タリ

明治四十一年十月十七日

京城居留民團民長 熊谷賴太郎

京城居留民團督促規則

第一條 民團税其ノ他諸收入金ヲ定期内ニ納メサルモノニハ納期後直ニ督促令狀ヲ發ス

第二條 督促令狀ヲ發シタルトキハ京城居留民團ノ手數料規則ニ依ル手數料ヲ滯納金ト同時ニ徵收ス

第三條 督促令狀ニ指定シタル期間ヲ過キ完納セサルモノハ國稅徵收法ニ據ル

督促令狀ニ指定スル期間ハ送達ノ日ヨリ七日以內トス但シ遠隔ノ地ニアル納稅者ニシテ本條ノ期間ニ納付シ難キ者ニ對シテハ相當期間ヲ延長スルコトアルヘシ

第四條 督促狀ノ送達ヲ受クヘキ者其ノ住所又ハ居所ニ於テ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ住所居所共ニ不明ナルトキハ其ノ要旨ヲ公告シ公告ノ即日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送達アリタルモノト見做ス

附則

本規則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●青年會演藝會

京城基督教青年會は同會の設備に要する費用に充てん爲め各有志者の賛同を得來る二十三、四の兩日午後五時より本町座に於て演藝會を開催することゝしたり入場券は白一圓五十錢、青一圓、赤五十錢の三種にし演藝目次は如左

演劇 江見水蔭著 一葉生 上中下 酒井政俊一座

京劇太郎冠者譔 一放心家 全一幕

神劍流 某劍士

劍舞術

薩摩琵琶 壯士腰間

樂 孤軍奮鬪 見 大聲呼酒 某西洋人

神樂 破 旅順陷落

悲雨瀟々 獨奏 某氏

倶樂友會其他の寄附餘興數種あり

●美人の末路(二)

正を踏むは難く邪に陷るは易き世の習ひ政江は日頃より姉妹の如く懇意になし居る秋葉といふ友達の家へ寄寓せし以來は如何なる天魔の魅入りしにや此れ迄の殊勝なる決心は何時の間にやら消ゑ去り學校にも碌々通はず類を以て集まる姦ましき友達の誰れ彼れと日々袂を連ねては今日は上野明日は淺草と物見遊山に空しく日をば送りつるが既に斯く一旦都の風に浸みてからは誰が何と忠告しやうと今更ら改悛すべくもあらず秋葉も見るに見兼ねて偶には涙を以て以前の性質に立ち返るやう意見を加へしかど政江は中心却つて五月蠅く思ふのみならず日に／＼募る淫行亂倫の振舞ひは以前に倍し今は教師の耳にも入るやうになり果ては惡事千里の響の通り終に此の事が誰れいふとなく國許の兩親の耳に入りしかば兩親の驚きと怒りとは一方ならずツマリは最愛の娘を東京に出だせしがソモソモの誤りと後悔せしも亦どなりては如何とも詮術なくソレより以一日も早く國元へ立ち歸らしめんとは思ひしも併し之も懲らしめの爲めと父は早速厳重なる書面を娘の許に送り今日からは學費はおろか下宿料さへ仕送りせざる旨を言ひ渡したるより政江はハタと困却し如何にせんと一時は思案に掻き暮れしも驚て忽ち思を決し何うせ一旦斯く墮落の淵に踏み迷ひし身の以前の素通娘に立ち歸ることの到底覺束なく毒を喰へは皿迄の譬へイツソ拗ねて浮世を渡つて見ばやと心は早や空怖ろしくも冥途の捨鉢なりナニ此所許りが都でなし何と目星を附けてか俄かに朝鮮行を思ひ出しまだうら若き女の身の飄然玄海の巻濤を渡りて此の京城に亘りしは昨年の四月頃と覺わたき之より先き政江は思ひ出多き花の都を出立する際圖らずも汽車中にて道連れとなりし男ありけるが其の男といふは年の頃は四十前後にて當時京城泥峴通りの山本とかいふ或る商店の番頭を勤め居り折柄主人の用向きを帶びて東京に仕入れに赴き今や萬事の用向も果たして歸途に就けるが流石に政江は一人旅に加へて女の身の心許なく思ひ途中の勝手は言ふ迄もなく朝鮮へ着いてからの身の振り方等を心から賴み入りしかば男も痛く同情を寄せ万事私に委してと許りに政江の身の上を引き受け夫婦氣取りのさなきだに樂しき汽車の旅の東海、山陽の長程も何時の間にやら過ぎ去り玄海の旅枕に懲の睦言も濃かに釜山に上陸し直ぐさま南大門に着したるが僅か行路三日の道連れも互の思ひは長へに變はらず紅情綠意今は切つても切れぬ間柄とはなりたるなり

●强盗團北洞を襲ふ

韓人一名を拉し去る

昨日午前一時より二時の間に於て東部北洞十四統五戶黃信明方へ廿餘名の大團体をなしたる强盗各凶器を携へて闖入したるも何等金品を掠奪するなく同家の下人たる金秀永(三六)なる者を拉し去りたる椿事あり此報に接したる東部警察署に於ては容易ならざる事件なりと巡査を八方に配置し其蹤跡を搜索なしつゝありと云ふ此黃信明といふは同地方の財產家にて近隣の者等よりも多少の尊敬を受け居れりとのことなるが其筋に於ては搜索上秘密に附し居れば詳細は追つて報ずる所あるべし

●城洞の强盗

東部城洞新一統一戶金召史(五三)といふは三人の娘を有し藥水と稱する飲料水井の番人をなし此藥水の飲料者より受くる僅かの金にて今日を過し居り至つて貧乏世帶なるが十八日午前二時頃表の戶を叩き藥水を茶碗一杯飲ませ呉れ若し飲せねば其分で置かぬと脅迫するにぞ女ばかりのことゝて誰れ一人返答するものもなく只息を殺して居たるが遂に戶を押破りて入り來りたるを見れば四十前後の男にてやがて室内に坐り込み火を點じ悠然と烟草を喫したる後先づ荒繩を取出して金召史を柱に縛したる上更に他の三女をも同樣柱に縛して戶棚押入等を捜し現金十一圓六十錢と衣類十數點を强奪したりと此報に接したる東部警察署に於ては直ちに犯人の嚴探中也

●淫亂な主人

南山町巴城館の附近に猿に緣ある屋號の商店ありサテ其の商店の主人といふは早や四十の坂を越わた分別盛りの身にてツレに家には歷々たる妻女もあり今年十五になる兒のあるにも拘はらず近頃は何ういふ氣まぐれからか知らねどもあらうことかあるまいことか召し使ひの下女に思を掛け何とかして要領を得んものと人目の關を忍んでは屢々口說き掛けしが下女はいつも其の度毎に柳に風と受け流し宜い加減にあしらい居りしが主人はソレを自烈ッ度く思ひツヒ此の間のこと家人の寢鎭りし頃を見澄し下女の部屋に這ひ入り寢入り鼻の下女をばツッと搖り起し俺れの云ふ事を聞けと迫りしも下女は却々に應せず死んでも厭やだと大聲を擧げたるより主人は今は是れ迄と將に手籠めになさんとせし事家を拔け出で周旋人の所に逃げ行きたるが幸ひ操を破られなかつたのでヤレ安心したと云ふ投書がソコ等あたりから舞ひ込みたり

●京城の牛乳

目下京城に在る牛乳搾取場は日韓人とも十ケ所內日人七ケ所にして乳牛百十一頭一日の搾取高二石三斗六升品質の佳良なるは荒井牧場肥塚獸醫にして良好なるは平山牧場及び支場にて他は稍や良好なるものなり價は日人の牛乳は一合金八錢韓人のは五錢なりと云ふ

●チプス

京城大和町二丁目八十番地與石順次は十九日腸窒扶斯に罹り青坡病院に送らる

●丸京の景品附賣出し

本町四丁目杉本吳服店にては本日より大景品附にて冬物の大賣出を開始する由尤も其懸賞の大袈裟なることは同店の特色なるが詳くは下段廣告欄にあり

巷のいろ／＼

◉毆られて泣く 一昨日午後一時頃西部青坡三十統李今龍(四二)が南部後洞にて大聲擧げて泣き叫び居る所を折柄巡回の巡査之を認め其の由を尋ねたるに實は只今三四人の韓人と喧嘩をせしが多數に無勢どう／＼彼等の爲めに毆られたのが口惜しいとのことなるより巡査は李を宥め歸らしめたり

◉女房が逃げました 一昨日午後七時頃南部水票橋宋性武(四十)なるもの銅峴分署に訴へ出でていふやう實は自分の女房が十日許り以前に家出を爲し今に歸り來らざるが多分數々より自分方に遊びに來る朝哲坊上帶居住李光福といふが誘拐せしものにはあらざるやと思へど何分可然搜索方が願ひたしとのこと故昨今警察にても頻りに搜索中なる由

◉無錢飲食 愛媛縣平民無職白石菊之助(三五)といふは一昨夜十一時頃西大門外獨立門通り飲食店岡山樓へ上り酒六本に牛肉二皿を平らげた揚句の果てが一文無しと來たので主人は其の旨警察へ訴へ出でんとせしに同人は圖々しくも主人に向ていふやう俺公は錢一文も持ち合せはないが警察では俺を知つてる筈だ左樣心得よ杯と勝手な熱を吹きしが驚て警官出張し本署に連行たり

◉仲間の賃金を橫取りす 宮崎縣平民西部龍山坊青坡居住大工職東末吉(二九)なるものは本月初旬頃南大門高等女學校の工事に雇はれ居る中他の職工に支拂ふべき賃金八十九圓を橫取りし何れへか逃亡せしが一昨日太田の常盤樓といふ料理屋に於て捕はれ裁判所へ廻されたり

◉腸窒扶斯 本町九丁目廿九番戶森川方熊本縣平民安藤泰三(十二)は一昨日腸窒扶斯に罹り青坡病院に收容せらる

●本町座の戀題 同座本晚の替り狂言は『戀』にして重なる役割は左の如し 北小路英麿(稻葉)遊人銀次(石巻)妹れ秀(一井)妹雪子([illegible])植木屋松藏(常盤)家扶太田(吉井)關三十郎(田宮)夫人定子(小泉)北小路信英(青山)家令渡邊(秋山)女房れすみ(阪本)百姓太郎兵衛(櫻木)書學生井上靜夫(酒井)

同可娛欄(十六)

魚友痴史

●狂歌

▲片々子へ
簡にして明すな鐵の筆の鋒

▲甘言子へ
噛締りや美い味ひの有言葉

▲拼香子へ
快い氣持讀だ斗で胸が爽く

▲梧風子へ
我獨り秋知り顔に澄して居

天氣豫報 (自二十日午後六時 至廿一日午後六時)

西の風晴

廿日午前六時各地氣象概況 氣壓の傾度緩慢にして全國一般に靜穩を告げ中部は曇天又は濃霧發生せるも其他は各地快晴なり

燃料 無煙煉炭

特色 火付善く火力耐久價格低廉

用途 家庭、暖爐、諸用に適す

●周防徳山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場

韓國一手販賣 京城太平町二丁目 神田組

▲無料紹介欄▼

人事部

●毎日曜日を除き毎夜午後八時より懇篤に英語を教授す月謝壹圓束修を要せす ロの出町百十八番 英學塾（五四）

●新聞社の校正係又は外交員を希望年三十五元刑事且つ活版事業に經驗ある者 姓名在社（五八）

●求婚 本年二十八月收八十圓血正体健十八九の良家の淑女と結婚したし 氏名在社（六七）

●外交係入用 市内保證人あるもの本人直接來談を乞ふ 南山町二の一七三農商工組合事務所（六七）

●弟子入用 但し十四五歳のもの 氏名在社（六八）

●求婚 年廿六血統正係累無月收五十圓容姿不問廿歳前後体健血正の女子と結婚したし 氏名在社（七〇）

京城又は附近にて豆粕の製造所又は販賣所あらば御知らせを乞ふ 氏名在社（七一）

●被雇度 朝九時より午後三時迄の間雇はれたし給金不望年十九保證人あり 氏名在社（七二）

夜間自宅にて筆耕に從事す御依頼の方あらば御申越し次第參堂の上委細承致すべし 姓名在社（七四）

（七三）エム生に答ふ長谷川町一丁目三〇番戸に來れ エチ生（七五）

仲居入用 年齢十七年より廿五六年者至急一名入用但料理店に心得の有る者なれば尚宜し 大和町一江戸善（七九）

熊本縣人 市下確氏の消息を知りたし エヌ生（七七）

●年齢廿五歳（妻帶者）會社銀行等の小使ひに雇はれたし 姓名在社（八〇）

物件部

●從來開業中の齒突然歸國の不得已に付器療機械藥品及び患者付の儘にて至急讓渡したし 姓名在社（四七）

●旭町一丁目通溫突十五間地所附（但七十坪）安價に讓りたし 姓名在社（六十）

●貸間 本欄人事部に御答申すオントル一間疊貳枚敷餘り庭園尤雅にして閑靜詳細は御來談を乞ふ 永樂町佛國教會裏山田（六三）

古着道具買たし 本町七丁目一六觀寶（六四）

●賣地 旭町一丁目の山の手にて風景絶佳の土地家屋附にて讓りたし御望みの御方は御來談を乞ふ 姓名在社（一〇）

一本町より明治町に入三軒目空地三十坪附の貸家あり 櫻井時計店（レ八）

裁縫、刺繍、編物、造花、摘細工、英語教授す和服仕立物御注文に應ず 大和町三丁目廿六番戸 古谷（八二）

廣告

店員入用 年令十五六才以上二十才迄 本人直接來談あれ但保證人を要す 本町四丁目 近藤骨董舗

●事務員募集 二十才以上二十五才以下 旭町壹丁目 岡田辨護士事務所

產婆並にマッサージ開業 南山町三丁目百十番戸（日本人倶樂部下手） 今般前漢城病院内科部長池田醫伯の御勸誘に從ひ前記の場所にて開業仕候 電話番號四二四番 取次 横山こいと

廣告

日本赤十字社韓國總委員部第一回總會を來る十月三十一日午後一時慶熙宮（京城西大門内）に於て擧行候に付ては當日社員は可成多數參列相成候樣致度且紀念品、繪葉書調製及會場設備等の都合も有之に付當委員支部内社員にして參列御希望の向は本月二十二日迄に京城居留民役所内當支部へ御申出相成度候也

追て本月二十二日を經過し御申出なきものは參列無之ものと見做し取扱候間此旨申添候

明治四十一年十月二十日 日本赤十字社京城委員支部

大日本國宮内省御用達 大日本麥酒株式會社釀造

ピースビール

「ピースビール」は原料を精撰し歐米最新式に據り釀造したるものにしてビール界に於て最良品たり

「ピースビール」は体裁高尚優美に味ひ美にして淡泊なり貴顯紳士飲料に適すること世に定評あり

RAINIPPON BREWERY CO LTD / Peace Beer

賣捌店

亀屋商店 牧野商店 佐藤牧商店

前田酒店 西崎商店 京城 大橋組

田中支店 藤木商店 龍山 大橋組

藤田商店

冷卸發賣

清酒 櫻正宗 櫻魂

入量の充實品質の芳醇は冷卸發賣を以て其の特色を發輝仕り候

京城南山町四丁目 山邑京城支店 電話八四九番

攝津灘魚崎 釀造元 荒牧屋 山邑本店

▲印刷開業▼ 本日より左記の處にて開業仕候間續々御注文被仰付度奉願上候 永樂町二丁目（赤門通） 仁川活版 京城支店 ▲印刷開業▼

御下宿開業 西大館 西大門外停車場前通 中川良夫

洋種 純良 牛乳 取次 電話 七五二番 一一七番 京城南大門外 荒井牧場

○梅毒○淋病 ○眼科○外科 専門 龍山老松町 十字病院 院長 醫科大學選科得業 望月恕麿

直輸入外國葉御披露 一トルコ紙卷 エジプト紙卷 一ハバナ葉卷 マニラ葉卷 其他パイプ、ケース、等附屬品一切右新荷物到着に付此際特別廉價を以て大勉強販賣可致候間御試驗の上御用向の程願上候 京城本町二丁目 トルコ煙草日希商會 D. COMENTRASCO.

入院隨意 京城壽町三丁目（元阪井病院跡） 高井醫院 院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治（電話二二六）

宇治銘茶 煎茶道具 紅茶コーヒー 卸小賣 吉 茶 開春園 京城旭町二丁目

移轉廣告 今般左記の處に移轉し從前の通り一般患者診察の需めに應ず尚ほ病室を增設し隨時入院治療を諾す 京城旭町二丁目（理事廳横） 富久尾病院 院長 京城理事廳嘱託 醫學得業士 富久尾湊

洋和 暖爐販賣 並に附屬品一式 煙突取付請負 京城本町五丁目一番戸 馬木勇吉 電話四七一番

▲會員募集廣告▼ 京城農商工組合事務所 韓國京城南山町貳ノ壹七叄 一會員ハ日韓兩國人ニ限ル 一入會志望者ハ此際至急御申込ミ相成ルベシ直ニ趣意書並ニ規約書ヲ無料送呈ス 明治四十一年十月

電話開通 五九二番 高岡洋服店 京城明治町壹丁目

一ヶ月八円の下宿 黄金町 統明館（明治町突當り）

●破天荒の大安賣● 華客諸彦平素の御愛顧に酬もるため今般最新流行品の着荷御披露をかね大々的奮發をなし破天荒の安價を以て相働き可申候 特に玉振時計は金二圓八十錢にて發賣仕候 尤も本品は機械の堅牢なるは勿論一々確實なる保險證を相添へ申候 明治町壹丁目 櫻井時計店

齒科開業御披露 齒術時間朝八時より夜十時迄技術は最も叮嚀親切を主とす當分御披露として現價の三割引を申受く 京城旭町壹丁目五十四番戸 齊藤齒科専門

神佛葬具請負 並に佛具販賣 貧困者は特志取扱申候 京城南山町四丁目（花月向） 左文字屋 取次電話八四九番 雜誌 大阪佛教取次所

GDS 土耳古煙草直輸入卸小賣 本品ハ特ニ原料ヲ精選シテ製シ特色ノ風味香氣ヲ有シ最モ高尚ナル飲料ニシテ來客用ニ適セリ 明治町壹丁目 ジーデーシエリス會社出張所 ヱムジーシエリス

開店御披露 かしわ 牛肉 すき焼 多少に拘らず出前可仕候 南山町一丁目松葉亭隣 とり清

土地家屋 金錢貸借 人事物件 口入業 ちとせ屋 右は精々御便宜に御扱可申候間一層御引立奉願上候 歌舞伎座前

純良牛乳 消毒安全

明法學士 訴訟代理人 小川勝平 事務所 京城本町二丁目（電話四番） 大郎東外門

入院隨意 梅毒産科 内科外科 眼科 婦人科 小兒科 診療叮嚀 吉田病院 南山町三丁目

品質精選 薪炭 京城南山町三丁目 川西商店

[illegible]

日本郵船會社 瀛船帆廣告 貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番 京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 月 日 後三時出帆 高砂丸 十月 日 前五時出帆

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 十月 日 後一時出帆

●釜山出帆、元山清津、浦潮行 立神丸 月 日

●新潟丸 十月日正午 大連行

注意 御乘船ノ際ハ波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金卅五錢 ▲三ヶ月 ... 郵稅一ヶ月金 ...
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 ...
編輯人 秋山忠三郎 印刷人 高木久馬太郎 發行所 京城 京城新報社